

http://www

この号の内容

1 第5回「より質の高い
オンライン授業づくり
に向けた交流・相談
会」ご案内

2 第4回「より質の高い
オンライン授業づくり
に向けた交流・相談
会」報告
学生がオンライン授
業に「工夫」を感じる
点は？

【本ニュース発行主体】

HOSEI2020 オンライン授
業支援特設チーム

(教学統括副学長のもとに
2020 年度のオンライン授
業を支援する目的で設
置)

【事務局】

総長室付教学企画室

より質の高いオンライン授業づくりに向けた

交流・相談会（第5回）を開催します

オンライン授業の質の向上を目的として、学内でオンライン授業支援に携わる 3 つの主体（教育開発・学習支援センター、情報メディア教育研究センター、本オンライン授業支援特設チーム）が協力して開催する「より質の高いオンライン授業づくりに向けた交流・相談会」の第4回企画を、以下の内容で開催します。専任・兼任教員どなたでもご参加可能です。毎回 1 時間程度のコンパクトな企画の予定ですので、ぜひお気軽にご参加ください。

第5回企画（オンライン開催）

日時：12月14日（月曜日）午後6時～7時

テーマ：オンライン授業におけるメディア活用

講師：畠山 久 講師

（情報メディア教育研究センター）

【内容】

オンライン授業においてどのような教材・資料を利用するか、ICT ツールをどのように活用するかを整理し、情報メディア教育研究センターの取り組みとあわせて紹介します。授業を組み立てるヒントになれば幸いです。

【ご参加申込】

下記フォームより12月10日（木曜）午後5時まで受付

12月11日（金曜）夕方までに、お申込時に使用されたメールアドレス（法政アカウントのみ可）に Zoom の URL と ID、パスワードをお送りします。

お申込みフォーム URL

<https://docs.google.com/forms/d/1KDRPhWQEKXYlARbtnZ3qSXM3PF9xHVb5XQXmg2Y7WaE/edit>

より質の高いオンライン授業づくり交流・相談会（第4回）報告 学生がオンライン授業に「工夫」を感じる点は？

「より質の高いオンライン授業づくりに向けた交流・相談会」の第4回企画を11月14日(月曜日)午後5時半～6時半に開催し、約35名の先生方にご参加いただきました。

今回は、講師の教育開発・学習支援センター データ活用推進ユニットリーダー 菅 幹雄 教授(経済学部)から、「オンライン授業に関する学生対象アンケートのテキスト分析」というテーマで報告いただきました。第2回の本交流・相談会におけるアンケート報告の続編として、大変多くの回答者学生が記入した、「授業の工夫を感じた点」に関する自由記述回答の分析報告でした。

テキスト分析の手法を用いて抽出された「授業の工夫」のトピックは、以下の6点。



分析をとおして、「全体の傾向」として示されたのは、以下の点でした。

- ・ 「双方向(教員-学生間)」、「学生への配慮」などコミュニケーションに関する工夫が特に目立つこと
- ・ 学部1年生は、授業内外のコミュニケーションの機会を高く評価している一方で、学部2年生以上は、資料・動画づくりや授業づくりの工夫を高く評価しており、学年別の傾向の違いがあること

終了後の質疑応答、意見・情報交換では、報告で示された「コミュニケーション」について、先生方ご自身が、様々な悩みや戸惑いをもっていることが交わされました。また同時に、授業アシスタントやTA制度を活用し、例えば前年度の受講生にアシスタントを依頼し、授業内容も一定理解しつつ学生に身近な立場から、教員と受講生の間を媒介する役割を果たしてもらうことで、コミュニケーションの機会を作れたといった実践の紹介も交わされました。

兼任教員含む参加者の方々からは、学生のアンケートだけでなく、教員がどんな努力や苦勞をしてきたかなどのアンケートを取ることはできないか、他の教員の皆さんがどのようにしていたか知りたい、といった声も出されました。

菅先生、教育開発・学習支援センター データ活用推進ユニットの皆さま、ありがとうございました。

当日の動画資料とスライド資料は以下に保存されています。視聴範囲は本学専任・兼任教員のみです
【第4回交流・相談会 資料】(法政大学から付与されたメールアドレスからのみアクセス可)

<https://drive.google.com/drive/u/0/folders/1wxNn5LPbHJrdTCWF-Lr9Ulg5zkfw775s>